

① 今週の取り組み

- 勤怠システムの修正
- ログ処理
- DX についてのまとめ

⑨ 勤怠システム作成の前提条件

- 出社は1日1回のみ
- 、 を押せるのは1度だけ。
 - を押したあとは が必ず表示
(1度ログアウトし、再度ログインした場合でも を表示)
- 勤務時間が8h以上
 - 休憩時間(1h)を設ける
- 日付を超えてのボタン操作は行わないものとする
- 15分未満についての切り捨ては行わず、ボタン操作した時間をそのまま適用する

⑥ 勤怠システムの流れ

- ① ログイン 認証を經由
- ② その他ページからマイメニューへ

< ① の動き >

- DB 接続をして、レコードを取得
- ↓
- Attendance クラスを new したインスタンスに取得した情報をセット
- ↓
- インスタンスをセッションスコープに保存

-
- セッションスコープから Attendance 情報を取得

- ↓
- attendance.getBegin() の戻り値が

- null : 出勤 表示
- null でない :

① attendance.getEnd() が null → 退勤 表示

② " " が null でない

→ どちらも非表示

↑
サー
ブ
レ
ット

↓

↑

J
S
P

↓

↓

↓

< ② の動き >

DB 接続をして、レコードを取得



Attendance クラスを new したインスタンスに
取得した情報をセット



インスタンスをセッションスコープに保存



セッションスコープから
Attendance 情報を取得



`attendance.getBegin()` の戻り値が

• null : 出勤 表示

• null でない :

① `attendance.getEnd()` が null → 退勤 表示

② " " が null でない

→ どちらも非表示

↑ サイバレット

↓

↑

JSP

↓

↓

↓